

「生活支援 GOYO」

～移動販売と健康教室で 人と地域のつながりづくり～

□ 生活支援 GOYOとは??

生活支援GOYOは、市内各地で買い物支援を行っている団体で、主に野菜・果物を中心とした移動販売を行っています。

特徴的なのは、移動販売と健康教室を掛け合わせた取組を行っている点です。

生活支援GOYOは、医療法人真光恵会「みやび内科・眼科クリニック」の協力のもと活動を実施しており、販売員の渡橋(おりはし)さん、高橋さんはみやび内科・眼科クリニックにて勤務されています。

渡橋さんは、地域のサロンで実施される健康づくりのための体操の講師も務めるなど、移動販売だけでなく、住民がいつまでも健康で暮らすこと地域づくりにも取り組んでいます。



□ 活動開始のきっかけ

市内で、在宅への訪問診療を行っている「みやび内科・眼科クリニック」の先生が、訪問診療中に「身体が悪くて買い物に行けない。」「家が不便な場所にあり、近くに買い物できる場所がない。」といった声を多く耳にしたことが、移動販売を開始したきっかけでした。

買い物に困っている方のために開始した移動販売ですが、当初は、地域と良い関係を築くことが難しく、なかなか活動が地域に定着しなかったそうです。

そこで、GOYOを知ってもらい、受け入れてもらうため、地域の会議に出席し、住民たちに顔を覚えてもらうことから始めました。

活動開始から数年経った現在も、地域での会議に参加し続け、「顔の見える関係性」を大切にしています。



□ GOYOの活動①

地域の会議への参加や住民同士のクチコミを通して、GOYOの活動は市内の約35か所にまで広がっています。

限られた時間で、より多くの地域を回りたいとの思いから、複数の区をまたいで移動することもあり、多いときには1日で4か所を回ることもあります。そのため、一か所での販売は限られた時間になりますが、毎回、多くの方が移動販売を利用されているのだそうです。

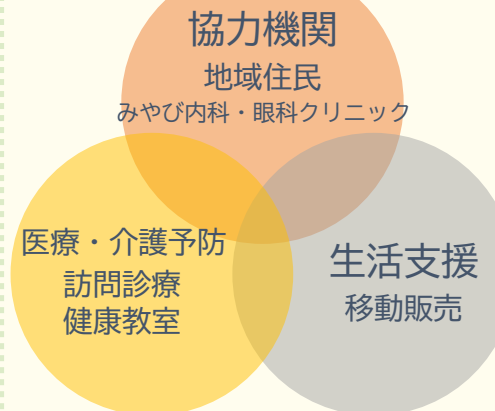
商品は八百屋から仕入れており、新鮮な野菜・果物の他に、魚肉ソーセージなどの加工食品や卵、利用者からの依頼に応じて、



お米を販売することもあります。

幅広いラインナップから、必要な食品を直接見て選ぶことができるため、日々の買い物に困っている人だけでなく、そうでない人にとっても、便利で愛される活動となっています。

このように、地域住民と良い関係を築き、協力を得ながら活動することが、長く続けられるコツだそうです。



さらに、地域住民や医療法人だけでなく、社会福祉協議会や行政など、様々な機関の協力のもと、生活支援・医療・介護予防など様々な方向から地域にアプローチすることで地域住民の暮らしを支えています。



～活動のポイント～

地域から買い物支援の要望があると、まず会議で説明を行い、より細かなニーズを把握します。

それにより、活動を押し付けるのではなく、地域が望んでいる活動と一緒に「くっついていく」ことができます。



□ GOYOの活動②

現在は、小倉北区・小倉南区・八幡東区・八幡西区・戸畑区の5区で移動販売を実施しています。

特に、小倉南区の東谷地域は、地形などの理由で買い物に困っている人が多く、移動販売のニーズが高くなっているそうです。

ほかにも、スーパーが少なく買い物できる場所がない地域や、交通機関の減少により移動手段が少ない地域からは多くのニーズがあります。さらに、地形の起伏が少なく、スーパーなども充実していて、一見買い物支援のニーズがなさそうな地域であっても、集いの場としてのニーズが高まりで、移動販売が広がっているそうです。

GOYOの移動販売は、比較的若い方から、80・90代まで、利用者の年齢層が幅広く、どの方も、元気に買い物をされるそうです。

いつまでも元気で過ごすために、地域での人と人をつながりをつくるため、販売員のお二人は、「今日は立派な大根があるよ！」「このミカン甘いいよ、味見してみる？」などと

声をかけながら販売をしています。

利用者と良い関係を作ることができなければ、移動販売を続けるのは難しくなります。地域にとって、GOYOは一事業者に過ぎないからです。地域に根差した活動を行うためにも、地域の方々との交流を大切にしているのだそうです。



□ 利用者の声

利用者の方からは、「お米なども売ってくれてとても助かっている。」や「近所にはドラッグストアもあるけれど、重い荷物を持って帰るのはとても大変。移動販売はありがたい。」「サロンでの健康教室も楽しく参加している。」といった声が聞かれました。

また、野菜やお米など、重いものを購入した際には、販売員のお二人が荷物を運ぶのを手伝ってくれることも、親切でありたいという声もありました。

□ 高齢者サロンとの連携

健康教室の講師を務めているGOYOは、地域のサロンとも密接に連携しています。

講師を務めたことで、地域のキーパーソンとのつながりができたことから、移動販売に発展するケースもあれば、移動販売に行っていた地域で、自然と新たなサロンが立ち上がることもあるそうです。

逆に、移動販売は実施せず、サロンの講師としてのみ活動を行っている地域もあります。

このような移動販売とサロンの連携も、GOYOの活動拡大に大いに役に立っています。

また、地域の民生委員が中心となって移動販売やサロンの運営を行うこともあり、見守り活動にもつながっているそうです。



□ 今後の展望

今後、利用者や他の事業者などにもっとGOYOの活動の意義や目的を知ってもらいたいと、GOYOは考えています。

GOYOが目指すのは、移動販売や健康教室を通して、地域で暮らす人と人、人と地域がつながることができる環境づくりです。

この目標を多くの方に伝え、同じ考えを持つ事業者同士の横のつながりを広げていきたいと考えています。



また、地域の方々をつながることで、何かあったときに相談してもらえる関係性を築くことも、今後の目標の一つです。

移動販売や健康教室、医療機関同士のつながりなど、GOYOならではの強みを活かして、これからも、地域の方の困りごとのサポートに取り組んでいきます。

